

学校法人飛騨学園高山西高等学校



本舎の東面に緑のカーテン
(ゴーヤ、あさがお)

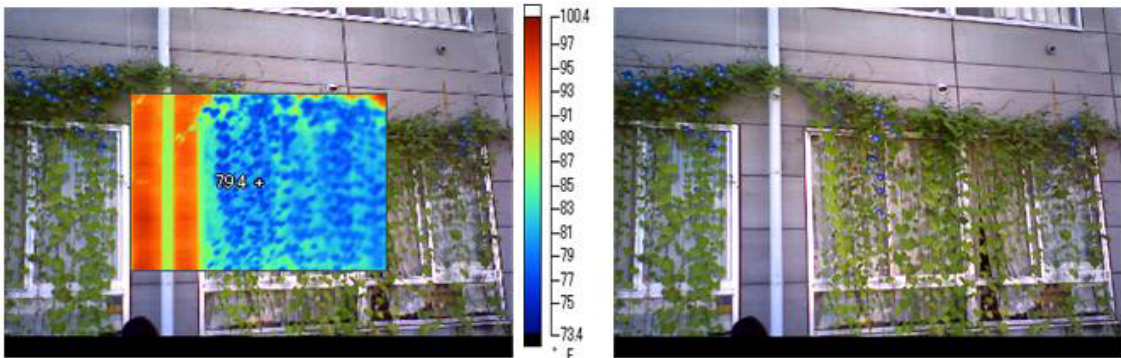
先生：視覚的にも、感覚的にも涼しく感じ、緑があることの大切さと同時に温暖化への危機感も再認識しました。来年度は、規模を拡大し、環境の授業との関連も考えながら実施したい。



専門員：植付けの間隔が狭かったり、生育があまり旺盛では室内が暗くなるおそれがあるが、教室内の遮光は適当でプランターや植付けの間隔も良かったと思います。ゴーヤ・あさがおともに長さも確保できました。



赤外線カメラ：平成21年9月1日撮影（天候：晴れ）



温度測定の結果からは、緑のカーテンがあるところとないところの温度差があり、効果がみられました。また、緑のカーテン裏側の校舎の窓ガラスや壁面を触るとひんやりとして冷たく、そして、風により揺れる緑のカーテンからは、涼しさが感じられました。

